

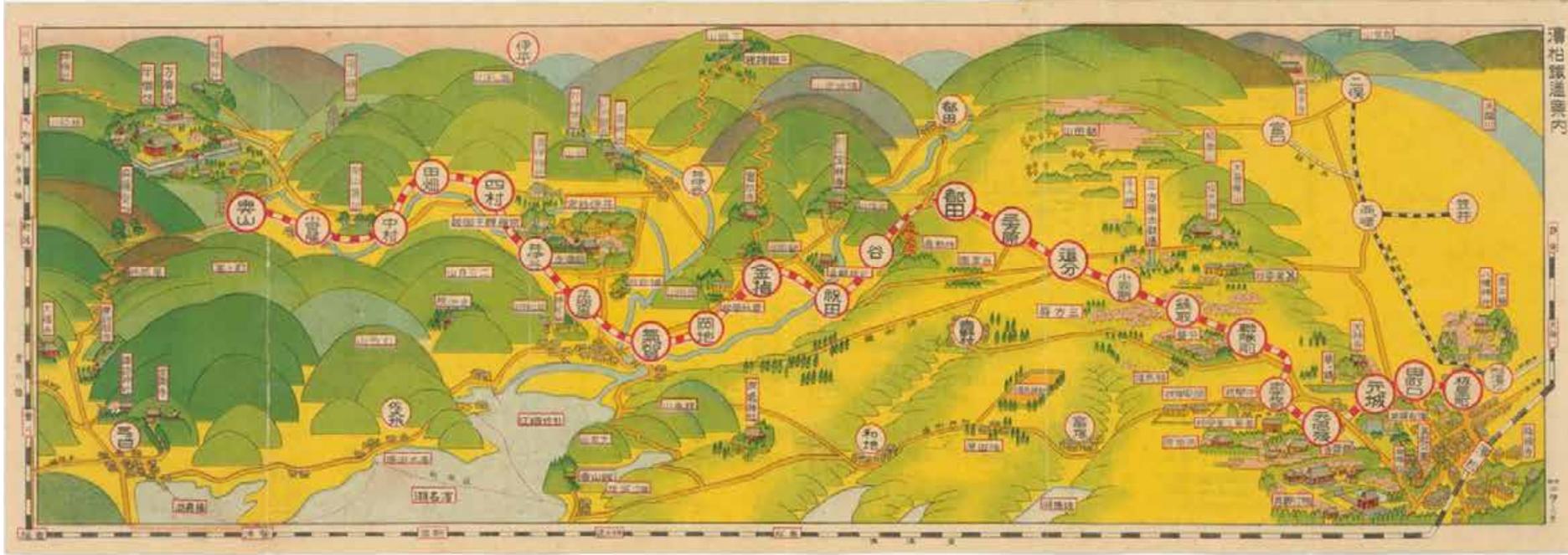
3年生 社会科 教材「まちのうつりかわり」

デジタルアーカイブ資料
(特に「交通地図」)

を活用した

「浜松市のうつりかわり」
の授業構想

活用資料①



「浜松鉄道案内」(大正12年)

※大正12年の奥山線路線図(奥山線開通は大正4年)

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/2213005100/2213005100200010/L19/>

活用資料②

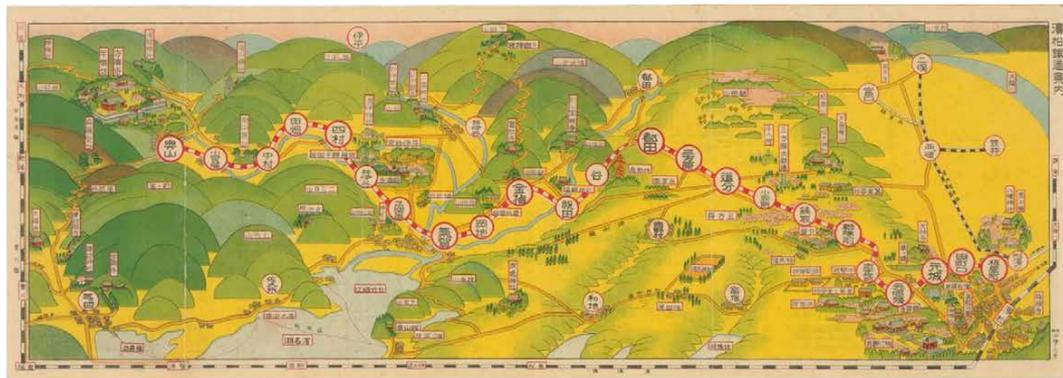


「浜松市を中心とせる名所史蹟交通鳥瞰図」(昭和5年)

※右図「浜松市付近一般図」

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/2213005100/2213005100200010/L21/>

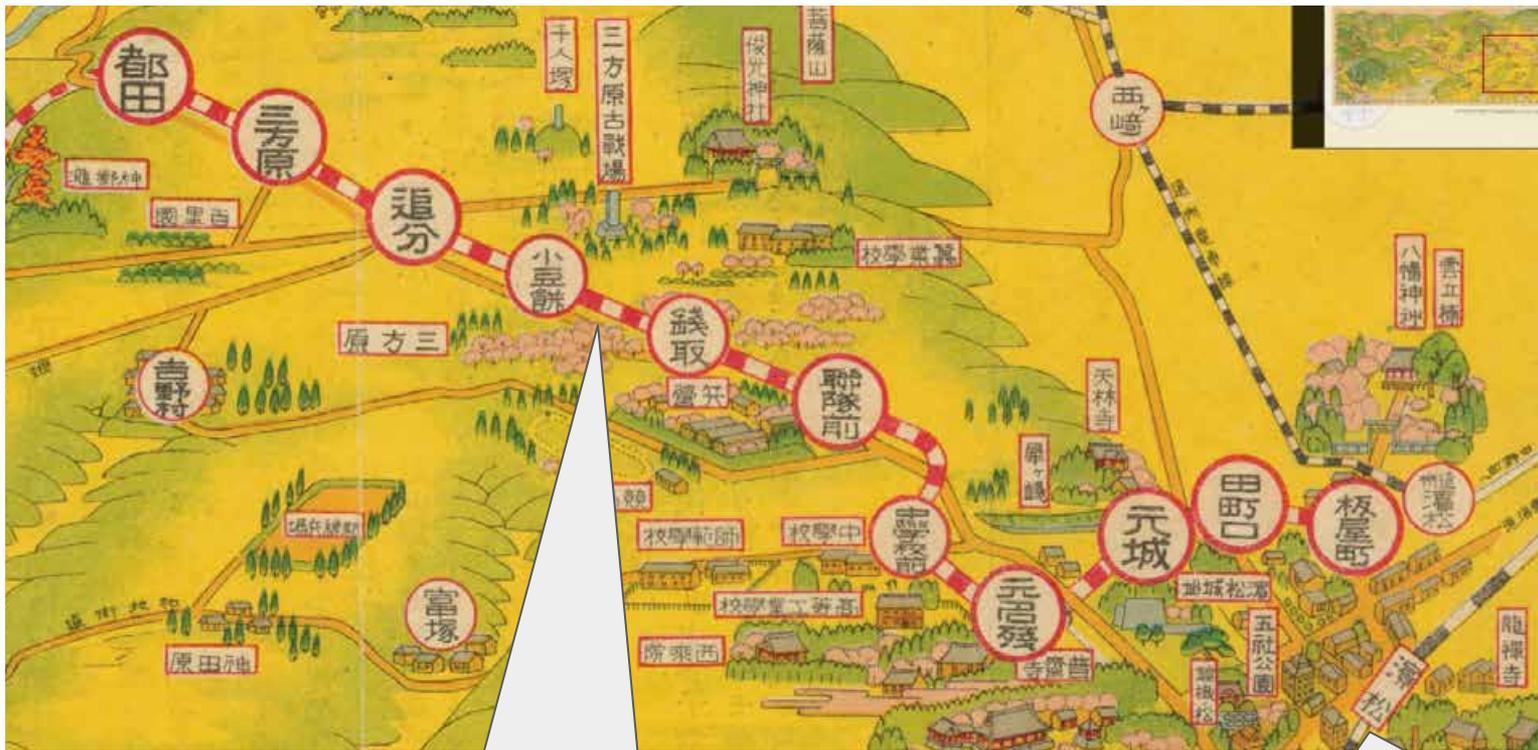
資料①を 導入で活用した パターン



「浜松鉄道案内」(大正12年)

気付いたことや疑問を**広く**出し合い、**交通関係を中心**にして
まとめながら学習課題につなげる。

集約する学習課題例
「**交通**」と「**その他**」



今、ここに線路はないよ。駅もないよ。
いつごろなくなったのかな？
なぜなくなったのかな？

2年生のときの電車教室では、浜松駅のすぐ近くに「新浜松駅」があったよ。けれどこの地図にはないね。

資料②を 導入で活用した パターン



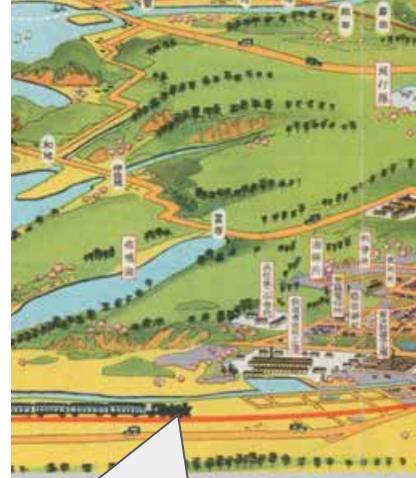
「浜松市を中心とする名所史蹟交通鳥瞰図」(昭和5年)

気付いたことや疑問を**広く**出し合い、うつりかわりに関する
様々な学習課題につなげる。

集約する学習課題例
「市域」「人口」「交通」「公共施設」
「土地利用」「その他」



浜松駅やそのまわりがだいぶちがうよ。アクティ
ティがないよ。あれ？赤電の線路がちがう！？
どのように変わってきたのかな。



なんだか家が少ないね。
三方原台地の上は、ほと
んど家がないよ。



浜松市ってこんなに小さい
の？？？どのように今み
たいになったのかな。



これが浜松城！？
今と全然違うよ。
いつ、今のような浜
松城になったのか
な？？

これが浜松市役所
のようだよ。今と全く違
うね。



資料③を
途中で活用する
パターン

★鉄道線路(駅)が廃止された沿線上の学校の場合
より身近な学区の古い写真を導入で活用して、
学習課題につなげる。

集約する学習課題例
「交通」

軽便鉄道の駅(曳馬野駅の写真)

問:ここはどこだろう?



「昔の写真みたいだね」

「どこかの駅かな？」

「なんか小さな小屋？
みたいなのがあるね」

「きっと、この近くでは
ないね。
浜松駅の方かな。」

今と昔の写真をくらべる

「え！？ここは、学区の〇〇の前！？」「駅がなくなっているよ！！」

「この線路はどこにいったのだろう？」「道路や車はないのかな？」

(昭和30年代)



(令和4年)



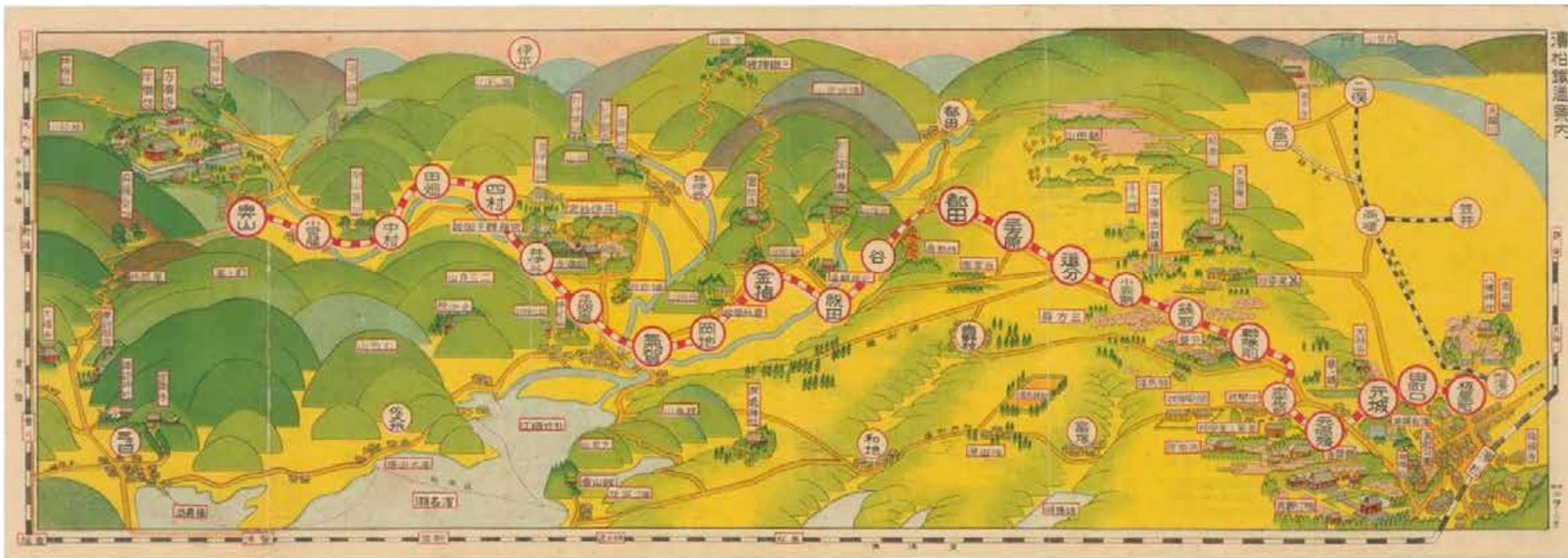
学習課題(めあて)

浜松市の交通のうつりかわり
について調べよう。

- 大正、昭和、平成・令和の路線図等の複数の資料を比較し、浜松市の交通の様子がどのように変化したのかを考える。

大正

浜松鉄道案内

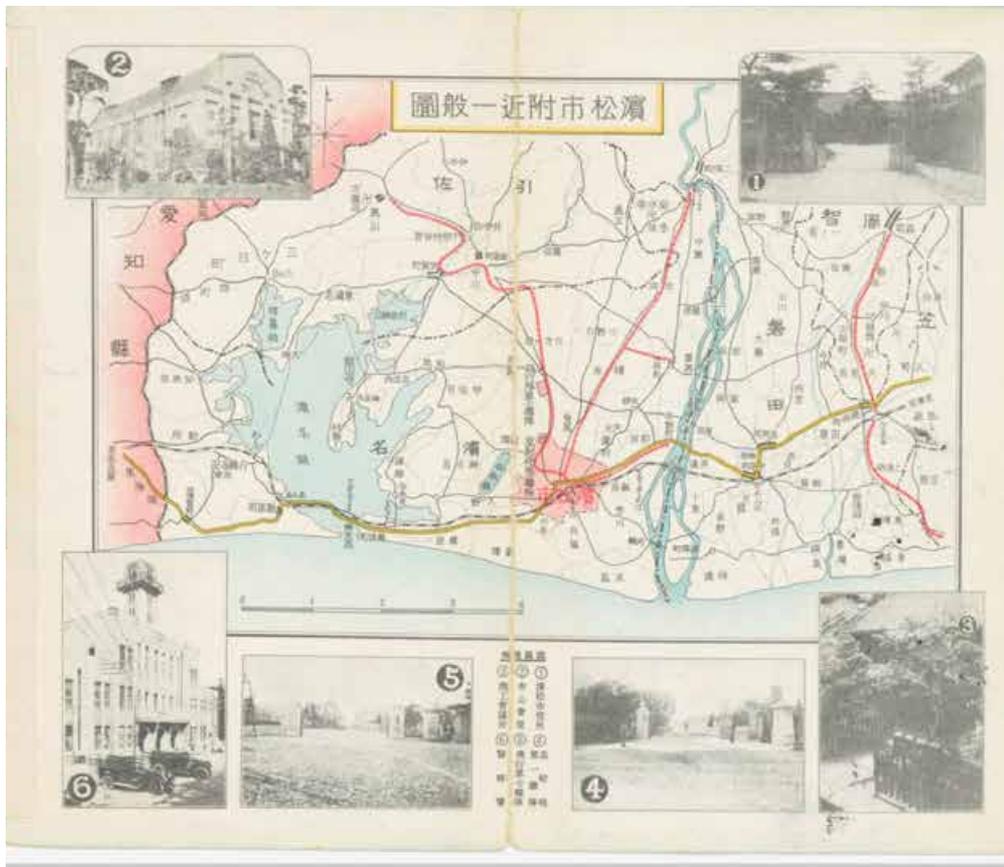


大正12年の奥山線路線図(奥山線開通は大正4年)

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/2213005100/2213005100200010/L19/>

昭和

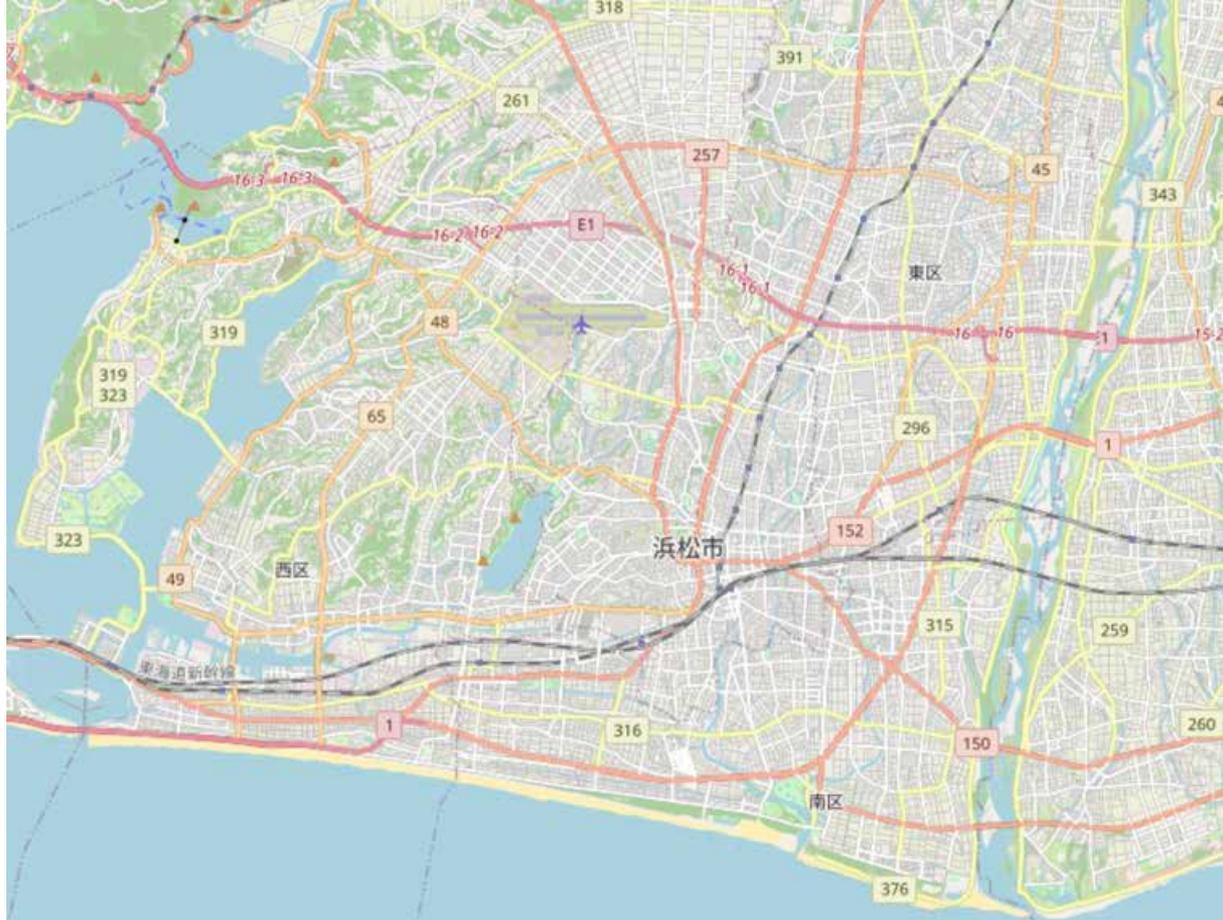
浜松市を中心とする名所史蹟交通鳥瞰図



浜松市付近一般図

昭和5年

現在



OpenStreetMap. <https://www.openstreetmap.org/search?query=%E6%B5%9C%E6%9D%BE%E5%B8%82#map=12/34.7420/137.7231>

* 現在の鉄道路線が分かる資料、国道や高速道路など道路が発達していることが分かる資料を用意する

その他 活用できそうな資料



『のびゆく浜松 小学校編』

郷土資料編集委員会 1959年

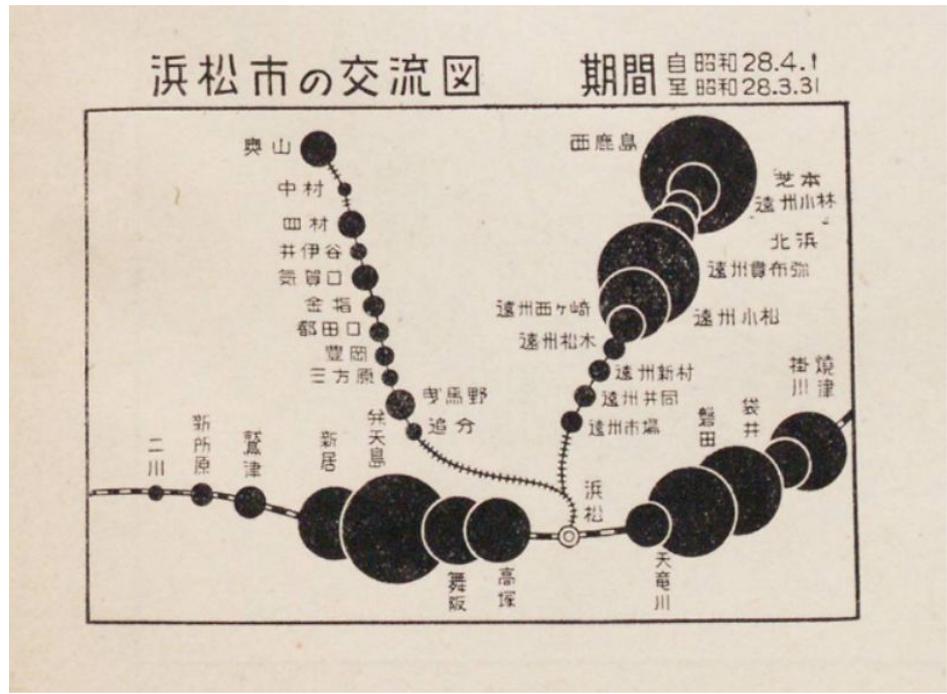
目次

	ページ	画像
一、浜松のあゆみ1	▶
(一) 人が住みはじめたころ1	▶
(二) 宿場町としての浜松8	▶
(三) 城下町としての浜松15	▶
(四) むかしの浜松の水運16	▶
(五) 明治維新以後の浜松18	▶
二、浜松の交通22	▶
(一) 浜松駅の研究24	▶
(二) 遠州鉄道の研究29	▶
(三) バスの研究31	▶
(四) 道路の研究34	▶
(五) 討論会35	▶
三、名所めぐり40	▶
(一) 浜松城公園40	▶

昭和28年ごろの利用客が分かる図

なぜ現在、奥山線が廃線となったのかを

考えさせる資料



その他 活用できそうな資料

昭和5年ごろの浜松駅前・・・まだ車が少なかったことが分かる。

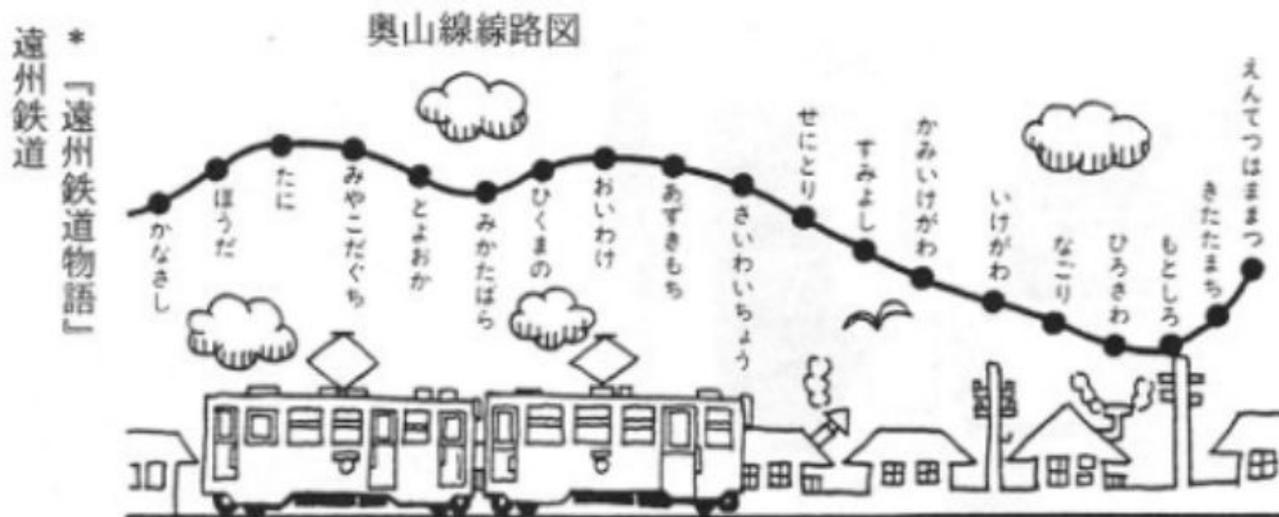
このあとどうなっていくかを想像する。



https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/2213005100/2213005100200010/senzen_syasin_01/

https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/ImageView/2213005100/2213005100200010/senzen_syasin_02/

『わが町文化誌 しいの森 はぎの原』



曳馬野駅はたった20年しかなかった

(奥山線と駅名の変遷)

			S 14 (1939) 0401	厩舎口野	(しょうしゃぐち)
8. 2	× 曳馬野	-	S 15 (1940) 09-	曳馬野	(ひくまの)
			S 39 (1964) 1101	廃止原	(みかたばら)
0. 1	× 三方原	*	T 03 (1914) 1130	三方原	

「なんで20年しかなかったの？」

「もしかしたら、この20年の間は人がたくさん住んでいたのかな？」

「電車の利用が少なくなった理由があるかもしれない。」

「そのころの曳馬野の人口はどれくらいだったのだろうか？」

まとめ

- ・浜松市には大正時代に奥山線(軽便鉄道)が通っていた。
- ・昭和時代に鉄道が増えたが、平成では路線の本数が減った。
東名高速道路や三遠南信道などの大きな道路が増え、
車での移動ができるようになった。
- ・交通が発達し、移動にかかる時間が短くなったことで
移動が便利になった。

第三学年 社会科 教材

「まちのうつりかわり」

4班

川崎智子 (浜松市中央図書館)
富田笑生 (浜松市初生小学校)
前田武掄 (博物館指導主事)
上村日向子 (成城学園初等学校)